2017.10.7 GEWANDHAUS 龍ヶ崎ゲヴァントハウス【オリジナルCDコンサート】

あの人は今…“忘れられた名演奏家を聴く”

プログラム

かつては一世を風靡した名演奏家達。今日はいつの間にか名前を聞かなくなった彼等の演奏を再確認しようという企画です。ロシアのスタニスラフ・ブーニン（1966～　）は1985年のショパン国際コンクールに19歳で優勝。一躍スターダムに伸し上がり“ブーニン・シンドローム”なる言葉を生み出す程の人気を博しました。当初はEMIやグラモフォンからCDが続々リリースされましたが、その後は次第にリリースも少なくなりました。現在は日本人妻を持ち、日本を拠点に活動を続けています。独特の解釈とアクロバティックなテクニックは常に賛否両論を巻き起こしますが、50歳を超えたこれからの演奏に期待が掛かります。アメリカ出身のジェシー・ノーマン（1945～　）は圧倒的な声量と表現豊かな歌唱でオペラ、コンサートに大活躍した名ソプラノです。近年は名前を聞かなくなりましたが、現在72歳、もう一度聞いてみたいひとりです。ジョン・エリオット・ガーディナー（1943～　）はイギリス出身の名指揮者。1970年代にイングリッシュ・バロック・ソロイスツ、1990年代にはオルケストル・レヴォリューショネル・エ・ロマンティックを結成して活動を続ける一方、ウィーン・フィル、ベルリン・フィルを始め、世界の一流オーケストラに客演して大活躍しました。近年の活動を耳にする事がなかったのですが、幸いにも今年の演奏が聴ける事になりました。細部にこだわった新鮮な響きで魅了する名指揮者です。クリスティーナ・オルティーズ（1950～　）はブラジル出身の女流ピアニスト。1969年のヴァン・クライバーン国際ピアノ・コンクールで優勝。その後は世界各地で活躍、日本にも度々来日して根強い人気を誇っていました。鋭いリズム感と情感豊かな節回しが魅力的で、まだ60代 近況の知りたいピアニストです。アメリカ出身の名指揮者ジェームズ・レヴァイン（1943～　）は1970年にフィラデルフィア管弦楽団の客演指揮者としてデビューすると、シカゴ交響楽団を経て1975年メトロポリタン歌劇場の音楽監督、1986年に芸術監督に就任、現在までその地位にあります。その間ミュンヘン・フィル、ボストン響の音楽監督を歴任しますが、いずれも短命で終わっています。近年は健康障害で活動がめっきり減っていますが、明快で情熱的、豊かな音楽性を持つこの名指揮者の復活を期待します。　(中川 壮麗)

＊＊＊＊＊＊＊

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン (1770～1827)
ピアノ・ソナタ第8番ハ短調op.13“悲愴”～第1楽章、第2楽章から、第3楽章
スタニスラフ・ブーニン(P)　(1994.1.25　東京芸術劇場でのLive)

ヨハネス・ブラームス (1833～1897):
歌曲“永遠の愛”op.43-1
ジェシー・ノーマン(S)/ジェフリー・パーソンズ(P)　(1983.8.7　ザルツブルク祝祭大劇場でのLive)

リヒャルト・ワーグナー (1813～1883):
楽劇“トリスタンとイゾルデ”～「愛の死」
ジェシー・ノーマン(S)／小澤征爾指揮ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団
(1999.8.15　ザルツブルク祝祭大劇場でのLive)

セザール・フランク (1822～1890):
交響曲ニ短調～第1楽章から、第3楽章
ジョン・エリオット・ガーディナー指揮ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団
(2002.4.7　ベルリン・フィルハーモニーホールでのLive)

エマニュエル・シャブリエ (1841～1894):
狂詩曲“スペイン”
ジョン・エリオット・ガーディナー指揮バイエルン放送交響楽団
(2017.2.24　ミュンヘン・フィルハーモニーホールでのLive)

＊＊＊ 休 憩 ＊＊＊

フェリックス・メンデルスゾーン (1809～1847):
ピアノ協奏曲第1番ト短調op.25～抜粋
クリスティーナ・オルティーズ(P)／アンドレ・プレヴィン指揮ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団
(1981.5.28　ウィーン・コンツェルトハウス大ホールでのLive)

グスタフ・マーラー (1860～1911):
交響曲第2番ハ短調“復活”～第5楽章から
キャスリーン・バトル(S)／クリスタ・ルートヴィヒ(Ms)／ウィーン国立歌劇場合唱団
ジェームズ・レヴァイン指揮ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団
(1989.8.19　ザルツブルク祝祭大劇場でのLive)

リヒャルト・シュトラウス (1864～1949):
交響詩“ティル・オイレンシュピーゲルの愉快な悪戯”op.28
ジェームズ・レヴァイン指揮ミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団
(2002..7.11　ミュンヘン・ガスタイクホールでのLive)

★ホームページアドレス　http://www.bekkoame.ne.jp/~hippo/gewandhaus/